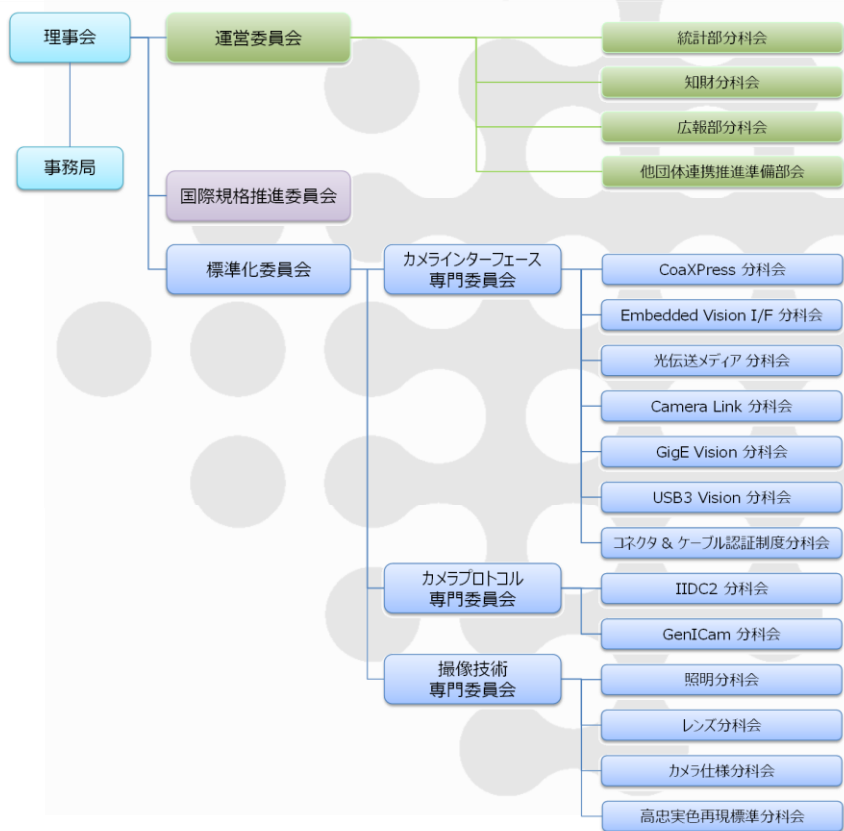


JIIAの活動

産業用画像機器（工業用カメラ、入力装置、画像処理装置、画像処理ソフト、光学機器、照明装置、計測・解析機器等）の産業用画像分野の発展を目的とし活動しています。

1. 先進的な産業用画像技術に係る標準化の推進
2. 国際的、横断的な標準化事業及びそのための調査研究等への参画、提言
3. 産業用画像分野の理解促進と情報交流のためのセミナー、講演会等の開催
4. 各種標準化会議の内容及び関連資料の開示、提供
5. 産業用画像分野の技術動向、市場情勢等に関する調査・統計資料及び関連情報の開示、提供
6. 国際的、横断的な産業用画像分野の会議、イベント等の主催及び支援
7. その他、本会の目的を達成するために必要な事業、及び前各号に掲げる事業に付帯又は関連する事業

組織図



入会案内

別紙「入会申込書」に必要事項をご記入の上、当協会事務局あてにお送りください。
詳細は、<http://jiia.org/document/application/> をご参照ください。



〒169-0073
東京都新宿区百人町2-21-27 ペアーズビル2F
(アドコム・メディア株式会社内)
TEL:03-3361-6880
一般社団法人 日本インダストリアルイメージング協会
<http://jiia.org>





マシンビジョン規格の手引き

~ GUIDE TO UNDERSTANDING ~



総合冊子（日本語版）版
http://jiia.org/mv_dl/



SLVS-EC



イメージセンサプロセッサ間的高速I/Fです。8B10B コーディングを採用しているため、高速・長距離伝送に適しています。また、マルチレーン機能を使用することで、様々なアプリケーションに対応可能です。

<http://jiia.org/standardization/outline>



Optical Transmission Media



MV業界では、CMOSセンサーの登場により、信号の高速化が進んでいます。そこでMV用光伝送の実用化に向け、3タイプの検討を開始し、それぞれの具体化を目指しています。

<http://jiia.org/standardization/outline>



75 Ωの同軸ケーブル一本で12.5Gbpsの広帯域ビデオストリーム伝送、リアルタイムトリガーなどの制御、電源供給できるデジタルインターフェースです。より高速な伝送は複数ケーブルの使用や光ファイバーの利用が可能です。

<http://bit.ly/coaxps>



レジスタアクセスというシンプルなコントロール方式を採用したカメラコントロール仕様です。既存・新規のインターフェースとの共有化により、開発コストの低減に貢献します。

<http://bit.ly/iidc2>



USB 3.0を用いたマシンビジョン用規格です。5 Gbpsの高速性とPC標準インターフェースの組み合わせにより、優れたコストパフォーマンスを提供します。

<http://bit.ly/usb3vi>



カメラのモデル、インターフェースによらず画一的に制御できるアプリケーション環境を提供するカメラコントロール仕様です。制御ソフトウェア開発の効率化に貢献します。

<http://bit.ly/geica>



Gigabit Ethernetを利用したマシンビジョン用規格です。高速かつ長距離伝送を低コストで実現することが可能です。ネットワーク接続によるマルチカメラ構成も容易に実現可能です。

<http://bit.ly/gigev>



EMVA1288は、カメラ・イメージセンサーの仕様測定、及び表示方法を規定した規格です。数学的モデルに基づく各パラメータを定義された手順で測定し表示することにより、製品仕様の比較が容易になります。

<http://bit.ly/em1288>



信頼性の高い高速デジタルインターフェースです。製品群も多く、用途ごとに最適な製品を選択することができます。PoCLでは、電源も同一ケーブルで供給可能です。

<http://bit.ly/camelink>



Lighting Standard



照明設計の方法論、照明製品の性能測定や仕様表記などを対象に、規格化・ガイドライン化に取り組んでいます。GenICamの照明制御対応の活動にも参加しています。

<http://bit.ly/lightstd>



広帯域伝送に対応したデジタルインターフェースです。1レーンあたり3 Gbpsの電線および10 Gbpsの光ケーブル伝送にも対応しています。低ジッタのリアルタイムトリガが可能です。

<http://bit.ly/camlhs>



MV用レンズマウントとして、多様化する撮像センサーに適したマウント仕様を標準化しています。現在、S、NF・NF-J、TFL・TFL-II、及びCFL・CFL-II・CFL-IIIの各種マウント規格のほか、選定の基となるマウント径の規格があります。

<http://bit.ly/lensstd>

